

アイケアで目元の印象が変わる！ “くすみ疲れ肌 対策”



warew instagram

二十四節季の大寒は、一年で最も寒い日です。

最も寒い時期に汲む水を「寒の水」と呼び、不純物や雑菌がもっとも少ない時期であることから、この水で仕込んだお酒や、味噌、醤油はおいしくなるといわれてきました。

日本各地では、大雪に見舞われて毎日雪かきに追われている方も多いのではないのでしょうか。

防寒のインナーや厚手のタイツが手放せない毎日ですが、同時に、内臓から温めてあげることが大切です。

内臓を温めて身体の巡りを良くすることで、肌の血色やハリツヤも良くなりますし、何より免疫力アップに繋がります！温めることは、お肌のくすみや疲れ顔にも効果がありますよ。

《免疫力アップのきれいの食材》

気を補う食材…ごはん、鶏肉、きのこ

陽の気を補う食材…えび、くるみ、羊、黒い食べ物（胡麻、黒米）

炊込みごはんなどは、おすすめです。是非、寒い季節内側も外側も温めて、元気に過ごしましょう。

《所作から美しくなる肌作法（お手入れ方法） warew ブライトリフトドレナージュ》

肩こりや血行不良により必要な酸素や栄養が滞り、くすみがちな目元。

日々酷使された目元のツボを刺激しながらやさしくリンパを流すことで、巡りを良くして血色のよい疲れを感じさせない明るい目元へと導く作法です。

目をとじ、やさしくゆっくりと触れてこころと肌を整えましょう。



一 中指と薬指でアイクリームをやさしくなじませます。
二 こめかみから目の下、目頭を通り（横竹サンチクというツボを通ると効果的）、最後にこめかみをプッシュします。
これを3回繰り返します。

ここは、お顔の中でも一番皮膚の薄い部分です。たっぷりの保湿とやさしいケアが大事です。

和の恵が、デリケートな目元をやさしくいたわりふっくらとケア。

4種の国産植物の力と、カラスムギのエキスをアルゲエキスなどの美容成分がすとなじみ、悩みに的確にアプローチします。

ローズの香りで、こっくりとしたクリームが肌にぴったり密着して、うるおいに満ちたキメ・ハリ・ツヤの整った肌へと導きます。

1回の使用量目安
お米粒大2～3ヶ

週イチパック
使用量目安 500円大

※週末パック（洗い流さない）
エマルジョンで整えた後に、お顔全体にたっぷりのせて15分ほどおきます。
後は軽く洗い流すか、そのままなじませます。



warew アイクリーム

<クリーム>20g 本体 10,000（税抜き）

95.30
天然

93.11
国産